

国際社会を築くために

氷見市立西部中学校 三年 片原 純伶

私が目に入、たのはなぞしこジヤパンの結
果の記事ではない。ぽっと見たとき、ほとん
どの人が気がつかないくらいの大サイズの記事
だった。

私は国際的なことに興味がある。毎朝見て
いるZIPは毎週金曜日^曜に外国の観光スポッ
トや・食べ物・ファッションなどを紹介する
コーナーがあるのだが、私は慌てているのを

忘れ無我夢中にな、て見てしまう。

そんな私が選んだこの記事は京都が二年連
続で世界人気観光都市一位にな、たという記
事だ。あの世界一世界遺産が多い国、イタリ
ア、アメリカを抜かし二年連続一位と
いう偉業^{偉業}を成しとげたのだ。

写真のないこの記事に興味を持、たのは、
私だけかもしれない。しかしこの事を知、た
京都の人々、その他にも多くの人々が喜んで
であろう。京都は一躍有名にな、た。き、と



外国人に、
「京都を知っていますか？」
と聞いたらほとんどの外国人は、
「YES！」
と答えるだろう。京都が有名になつたことは
日本が有名になつたといつても言^か言^{じん}ではない。
私は新聞で見えて知つたとき、何もしていない
のだがなんだか嬉しく誇らしく思えた。
京都が選ばれた理由としてあげられるのは
やはり日本らしさという観点からだと思ふ。
私の住んどいる県でははたして伝統文化が受
け継がれているのだろうか。少子高齢化が止
まることなく進んでいく日本だが私たちこそ
伝統文化を受け継ぎ、発信していくべきであ
る。伝統文化は昔の人々の思いであり、願
いである。そんな伝統文化を私たちの代で止め
ることは決して許されない。
私は受け継がれている伝統文化を次の代へ
とつなげていかなければいけません。また情
報社会の今、日本の伝統を外国へと情報を発



信じていくべきだと思います。

二〇一五年の東京オリンピックで日本はますます注目の光を浴びている。これからも日本が、世界で注目を集めれる国にな、ていけるように。まずは自分の身近なことから大切にしていきたいと思う。

